



【重点取り組み】

「親子のこころの健康を地域で支える健康づくりに取り組みます」

乳幼児期からのより良い家族関係を築くために、親の子どもへの接し方のスキルを高める新たな事業を検討します。また、地域で孤立することなく子育てするために、父親への支援を行うこと、地域住民・関係機関と一緒に地域の特性に合わせた「子育てしやすいまちづくり」を行うことを、地域ごとに実施している地域会議*（地域情報交換会等）を中心に推進します。

＜令和3年度実績＞

1. 子育てしやすいまちづくりについて

子ども支援センター・地域子育て支援センターの子育てアドバイザー（保育士）と母子保健課保健師を中心に、地域の現状や特性に合わせた活動をすすめています。

令和3年度の地域情報交換会は、令和4年1月～2月の開催に向けて準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染急拡大のため、書面開催に変更になりました。

2. 親の子どもへの接し方のスキルを高める事業について

1歳6か月児歯科健康診査において、厚生労働省の健やか次世代育成総合研究事業で作成された「子どもを健やかに育てるために～愛の鞭ゼロ作戦～」のリーフレットを配布し、育児相談で子育てのアドバイス等を実施しています。

【その他の主な取り組み】

1. 子どもの食育に関する取り組み

「食を通じて子どもの社会性と食の自己管理能力を身につけ、しなやかな身体、豊かなこころを育てます」

本取り組みは「やちよ食育ネットワーク協議会」が行う事業と、妊娠期から継続した食育事業の2本柱で推進しています。

＜令和3年度実績＞

（1）やちよ食育ネットワーク協議会が行う事業

◇食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」の実施

農業生産者と関わりのある食育授業を小学校全校で実施することを目指して、平成24年度より食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を開始しました。小学3年生を対象に、農業生産者・学級担任・栄養教諭等の連携で授業を実施しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施については学校判断とし、小学校22校中、18校で授業を実施しました。

- ・やちよ食育ネットワーク協議会・分科会合同会議 2回（書面開催）

（2）妊娠期からの継続した食育事業

- ◇妊娠期・・・プレママ教室（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため12月まで中止）
- ◇乳児期・・・4か月児赤ちゃん広場事業
- ◇幼児期・・・子育て応援ポケット事業での食育（相談、リーフレットの配布）、公民館等からの依頼
- ◇学童期・・・学童保育所や公民館等からの依頼



▲小学校での授業の様子。実際の作物を用いて「にんじん」の生産等について説明する農業生産者

2. 思春期保健ネットワーク会議の取り組み

「思春期の子は自分や他者を大切にし、生と性の課題について適切に対処します」

本取り組みは平成 18 年度に発足した八千代市思春期保健ネットワーク会議を中心に医師、助産師、学校関係者、保護者などのメンバーで推進しています。

<令和 3 年度実績>

(1) 八千代市思春期保健ネットワーク会議の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 3 年 2 月にオンライン会議を開催しました。

(2) 中学生向けリーフレットの配布

性に関する正しい知識を得られるサイトや相談機関を掲載した「中学生向けリーフレット」を、市立中学 1 年生とその保護者を対象に配布しました。

